

道の駅スタンプラリー2016

- 北海道新幹線開業日に合わせて実施(例年はゴールデンウィーク前に実施)。
- 北海道新幹線が結ぶ関東・東北・北海道各地区の「道の駅」スタンプを押印することで応募資格が得られる【関東・東北・北海道「道の駅」賞】を企画。

シーニックドライブマップ

- 「シーニックドライブマップ2016」を北海道新幹線開業日に合わせて販売。
- 香港・台湾・シンガポールの言語に対応したドライブマップを作成してインバウンド対応。

○北海道新幹線が開業する3月26日に合わせて「道の駅」スタンプラリー2016を開始

- ・北海道新幹線開業の効果が全道各地に拡がることを期待して、北海道新幹線開業日に合わせて「道の駅」スタンプラリー2016を開始します。
- ・北海道が平成27年1月に公表した「北海道新幹線開業後の二次交通動態調査」によると、道外居住者が道内各エリアへの移動手段として、レンタカーを選択する割合は、
道央方面 40.2%、道東方面 51.3%、道北方面 53.0%
と約半数を占める割合を示しています。
道南を始め、道内各方面への移動は「道の駅」で休憩や地元グルメなど楽しみながら、安全に足を運んでいただきたい。
※スタンプラリー実施期間 H28.3.26～H29.3.20

○ 道の駅スタンプラリー2016に「北海道新幹線開業記念賞」を企画

- 北海道新幹線開業を記念して、北海道新幹線が結ぶ関東・東北・北海道各地区の「道の駅」スタンプを押印することで応募資格が得られる【関東・東北・北海道「道の駅」賞】を企画します。
- 今回、北海道「道の駅」スタンプラリー2016 限定の取組で、関東「道の駅」賞 20名、東北「道の駅」賞 20名、北海道「道の駅」賞 20名の合計60名を対象に賞が用意されます。
- この賞は、北海道新幹線で結ばれる各地区間の周遊観光に期待するもので、道内の方は元より、道外在住者の方にも北海道「道の駅」スタンプラリーに参加いただき道内観光を楽しんでもらいたい。
※応募資格等は「道の駅」スタンプラリー2016 で紹介いたします。

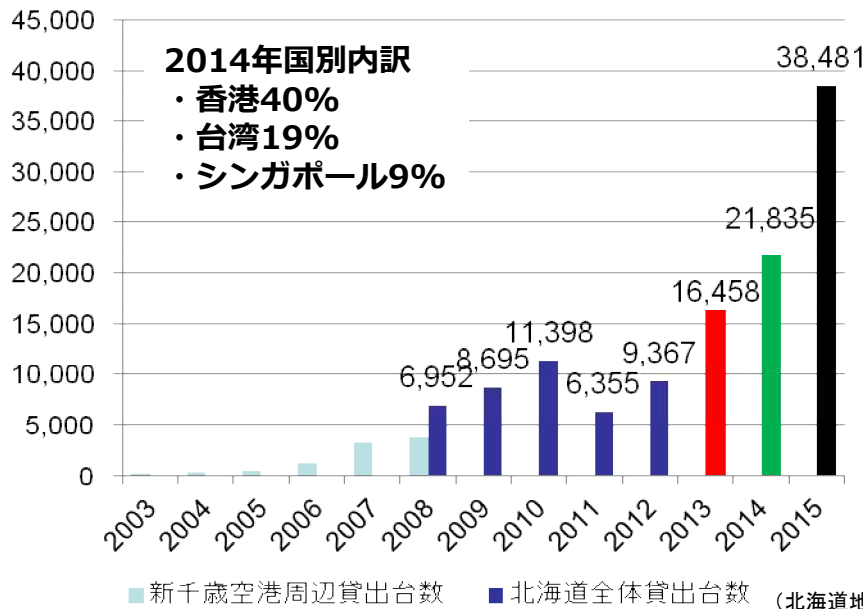
○北海道新幹線が開業する3月26日に合わせて「シーニックドライブマップ2016」を同時発売

- 北海道新幹線開業の効果が全道各地に広がることを期待して、北海道新幹線開業日に合わせて「シーニックドライブマップ2016」の発売を開始します。
- 「シーニックドライブマップ」の特長
 - 特長1 シーニックバイウェイ北海道の指定及び候補14ルート「絵になる道」「おいしい道の駅」等の情報を掲載したマップで、地域住民等がオススメするドライブコースを紹介。
 - 特徴2 北海道内117駅を全て掲載しており、ドライブコース・立寄り先の検討や「道の駅」スタンプラリーの携帯地図として便利。
 - 特徴3 シーニックカフェやシーニックデッキなどの地域住民オススメのポイントを紹介。

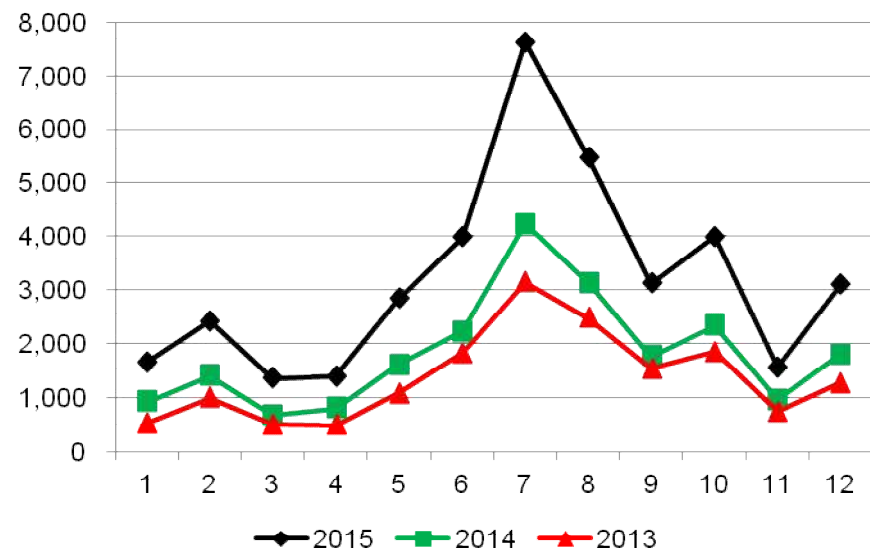
○ シーニックドライブマップのインバウンド観光への対応

- 近年、北海道内における外国人へのレンタカー貸出台数が急増。北海道新幹線の開業による新たなゲートウェイへの対応や北海道内各地を巡っていただく取組として、需要の多い、香港・台湾・シンガポールの言語に対応した、北海道内の美しい自然景観・「道の駅」を紹介するドライブマップを作成。

▼年間集計(台) H27年12月現在



▼月別推移(台) H27年12月現在



「道の駅」スタンプラリー2016

① 北海道新幹線開業後の二次交通動態調査(抜粋)

函館地区から道内各方面への移動手段
(道外居住者アンケート)

	リカ-	JR在来線	観光バス	路線バス	タクシー	自家用車	飛行機	その他
◎ 道央方面	45.9% (552件)	40.2% (484件)	6.2% (74件)	3.2% (38件)	2.7% (33件)	0.7% (9件)	0.7% (8件)	0.4% (5件)
◎ 道東方面	51.3% (198件)	28.5% (110件)	9.8% (38件)	3.4% (13件)	2.6% (10件)	2.1% (8件)	1.8% (7件)	0.5% (2件)
◎ 道北方面	53.0% (306件)	31.0% (179件)	8.8% (51件)	2.6% (15件)	2.1% (12件)	1.2% (7件)	0.7% (4件)	0.5% (3件)

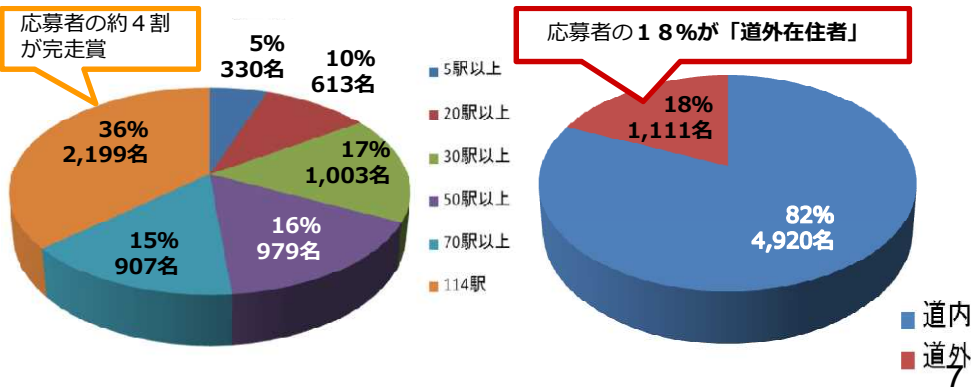
② 「道の駅」スタンプラリーへの参加状況

▼参加者総数

- ◎ 2014年度 38,957名
- ◎ 2015年度 約4万2千名 (H27年12月時点)

▼スタンプラリー応募者数

- ◎ 2014年度 6,031名



③ 「道の駅」スタンプラリー2016 表紙案



④ スタンプブックの利便性向上

道内の移動利便性を高めるため「MapQR」を全国初導入

※MapQRは、地点情報が読める最新のQRコードで

- 1) スマートフォンの地図で位置の確認
- 2) 地点情報の閲覧
- 3) カーナビゲーションの目的地に設定

することが出来ます (協力：株式会社デンソー)

▼「MapQR」の機能 (イメージ)



シーニックドライブマップ2016【新幹線開業と同時発売】

① シーニックドライブマップ2016の概要

【仕様】 A1版、北海道「道の駅」117箇所掲載

【価格】 200円

【発行部数】 2万部

【販売所】 「道の駅」、シーニック関係施設、フェリー各社、札幌駅どさんこプラザ ほか

【テーマ】 地域色を満喫する おすすめドライブコース“絵になる道”

▼シーニックドライブマップ2016の表紙（案）



▼ルート情報面のイメージ（2015版）



▼地図面のイメージ（2015版）



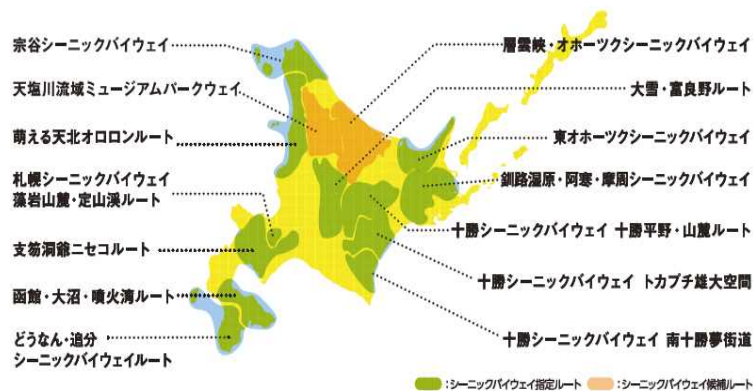
② シーニックバイウェイ北海道の紹介

シーニックバイウェイ (Scenic Byway) とは、景観・シーン (Scene) の形容詞シーニック (Scenic) と、わき道・より道を意味するバイウェイ (Byway) を組み合わせた言葉です。

地域に暮らす人々が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、地域資源の保全・改善の取組を通じて「美しい景観」「魅力ある観光空間」「活力ある地域」づくりを目指す取組です。

現在12の指定ルートと2つの候補ルートが活動しています。

北海道新幹線開業により交流人口の拡大が期待される道南地域に2015年12月、新たな指定ルートとして「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」が認定され、地域の取組が活発化しています。



支笏洞爺ニセコルート



2つの国立・国定公園があり、美しい湖と秀峰、火山に出逢えるルートです。

TEL 385 530 224*17

宗谷シーニックバイウェイ



秀峰利尻富士を擁する利尻島、花の浮島礼文島、日本最北端の地を巡るルートです。

TEL 736 667 528*47

萌える天北オロロンルート



増毛から幌延まで、日本海に沈む夕日の美しさ、眺め、海の幸を堪能できるルートです。

TEL 416 695 520*44

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



美しい日高山脈と海へと流れる清流が特長のエリア。広大な畑や牧場の風景が楽しめる展望スポットも多数点在している十勝の南ルートです。

TEL 396 323 497*23

大雪・富良野ルート



旭川から美瑛、富良野、占冠まで、彩り豊かなパッチワークの丘や、映画・CMのロケ地を巡ることができるルートです。

TEL 349 730 011*13

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ



どこまでも続く牧草地、広大な釧路湿原、阿寒湖や摩周湖などの美しい湖にも恵まれた、多様な自然に囲まれたルートです。

TEL 149 226 472*73

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート



十勝平野の西北部、日高と東大雪の山裾を巡るルート。十勝平野に広がる畑と防風林の景観や、食・農・アウトドアを満喫できます。

TEL 743 286 362*66

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山渓ルート



札幌市内にありながら、四季を通じて自然を感じることのできる都市型のルートです。

TEL 708 844 592*26

東オホーツクシーニックバイウェイ



世界自然遺産の知床や、広大な田園風景や花々、冬は流水を堪能できるルートです。

TEL 757 601 114*48

函館・大沼・噴火湾ルート



函館開拓の歴史・古代縄文遺跡を訪れ、噴火湾の大自然を楽しめるルートです。

TEL 687 518 035*45

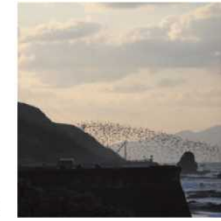
十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間



帯広を中心に周辺の7町で構成され、地元で採れる豊かな食材やスイーツ、温泉、ばんえい競馬などのアクティビティを楽しめるルートです。

TEL 369 625 281*06

どうなん・追分シーニックバイウェイルート



北海道の最南端に位置し、北海道の和人文化誕生の地としての歴史や豊かな自然とそとで育まれた農・水産物など、多くの資源に恵まれたルートです。

TEL 676 217 825*22

参考紹介

- **道の駅における道路情報提供施設として「道の駅SPOT(無料公衆無線LAN)」を整備**
 - 現在「道の駅」に設置されている道路情報提供施設(「道の駅」情報提供端末)は、設置から10年以上経過し、より利便性が高くなるよう改善が必要。
また、観光立国の実現に向けて、無料公衆無線LANの整備促進等が求められているところ。
 - 国内外の多様な利用者に対して、適切に道路情報等を提供するため「道の駅SPOT(無料公衆無線LAN)」を整備しています。
北海道新幹線開業時には、89の「道の駅」で運用されます。
他の駅では引き続き整備を推進します。



「道の駅SPOT」の利用は
このシンボルマークが目印

北海道新幹線について

- 北海道新幹線が整備されることにより、北海道総合開発計画に掲げられている「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」に寄与。
- 「地域経済を先導する観光産業の振興」や「広域的な生活圏の形成と交流・連携強化」など、新幹線の整備が、北海道経済の活性化に果たす役割に期待。

平成28年3月26日 北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)が開業 (運行本数13往復 東京ー新函館北斗間10往復 最速4時間2分)
～北海道と本州が初めて新幹線ネットワークで結ばれ、鉄道による人の交流が飛躍的に増加

新函館北斗・札幌間開業の5年前倒し決定(H47年度末→H42年度末)～札幌延伸に向けた取組が加速

北海道開発局の取組

①新幹線建設事業との円滑な調整

例えば

○新幹線と道路等の交差部の調整

②北海道新幹線の整備効果を道内広域に波及させるための課題の検討及び各種施策の推進・支援

例えば

○新幹線駅からの道内各地へのアクセス

○新幹線新駅周辺整備

○地域活性化・観光拠点

シーニックバイウェイ北海道、道の駅、北海道みなとオアシス等

○インバウンド観光

道の駅Wi-fi環境整備、道路標識の英語表記改善